

学校新聞

平成 29 年度

「薫風」第 10 号

3 月 23 日 (金)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日制課程 〒142 - 0042 品川区豊町 2 - 1 - 7

人間としての基本の力を伸ばそう！

校長 白井 克昌

IT革命とグローバル化の時代と言われて久しい。インターネットを通じて、世界中の情報をリアルタイムで知ることできるし、世界中の人々と瞬時に交信もできるようになりました。しかしながら、負の側面として、人と直接会わなくても、コミュニケーションがとれることから「顔の見えない社会」が急速に広がっており、悪質な嘘なども氾濫していると言われています。

最近、凶悪な犯罪が頻発し、殺伐とした社会の風潮が感じられるのも、このことと無縁ではないと思います。大崎生の皆さんは、この危険な落とし穴にはまってならないし、保護者や友達、周囲の人々を悲しませることだけは絶対にあってはなりません。こうした危険性のある社会であるからこそ、自分が賢く強くなっていくことが大切です。

SNSによりコミュニケーションの方法はどんどん便利になっているにも関わらず、人と向き合って対話することは減っています。物理的な距離は近くても、心と心は遠ざかっているのではないのでしょうか。技術が進歩し、情報が増大すればするほど、それを活用していく人間の力が重要になってきます。「人間としての基本の力」を磨いていくことが求められているのです。それは、「読む力」「書く力」「考える力」であり、「挑戦する力」「創造する力」「忍耐の力」であり、そして、「人を思いやる力」「人を大切にする力」「人に尽くす力」です。

大崎生は、基本的には真面目でよく挨拶のできる、また、爽やかではつらつとした素晴らしい生徒です。今一度この一年を振り返り、来るべき新年度に向けた反省と意識を確立してほしいと思います。明日から春休み。4月には新入生が入学してきます。憧れていたとおりの素晴らしい先輩たちであると思われる大崎生となるように期待しています。

●次世代リーダー育成道場の留学生壮行会を実施（1月）

東京都教育委員会の次世代リーダー育成道場プログラムにより、本校2年生2名がオーストラリアの高校へ1月から11月まで留学しました。このプログラムは、国内研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生を支援するプログラムです。



●土曜講習修了式を実施（2月）

1、2年生の特進クラスと希望者選抜メンバーによる土曜講習の修了式を実施しました。年間18回すべてに参加した生徒については皆勤者として表彰しました。土曜講習を受けながら自分に合った方法を試行錯誤しながらも、学習する積み重ねが重要です。地道な努力が、希望の進路を実現する近道となります。



●品川区立学校児童生徒会の役員懇談会（2月）

生徒会の代表者が荏原平塚学園において行われた児童生徒会の役員懇談会に参加しました。品川区内の公立小・中学校、義務教育学校の児童・生徒に本校の生徒会活動を紹介し、交流を深めることができました。



～防災部が東京消防庁消防総監表彰！～

第70回東京消防庁開庁記念日に当たり、本校の防災部（防災活動支援隊）の地域活動に対して、東京消防庁消防総監感謝状を荏原消防署長より授与していただきました。

【まもなく進級 第3学年】

第2学年主任 大嶽 敦

人生は頑張ることの連続です。「今、自分は頑張っているか？」自分のことを自問自答してください。今、自分の目の前にある課題（物事）に対して、面倒なこと、苦手なことを後回しにしないでください。面倒なこと、苦手なことに対して向かっていく、そして克服できるようにしてほしいです。

もまもなく第3学年になる、第2学年の生徒は節目の年になります。自分の第1志望を勝ち取るために頑張ること。それは、4月からの1年間を通じて最大の課題のはずです。そして、そのための対策として最も大事なことは、「勉強・学習」です。しかし勉強は苦手、面倒と感じている人も多いはず。もう後回しはできません。今から真剣に取り組んでください。

生徒からも人気のある早慶、MARCHは就職の際、企業からも人気があります。その理由は、「客観的にこれまで頑張ってきた学生が多い」ということのように。3月に卒業した先輩の中には、早慶、MARCH合格の結果を出した人がたくさんいます。みなさんと同じように高校の中から大崎高校を選び入学しました。なぜ合格できたか、それは頑張ったからです。「頑張ればできること」「やればできること」を先輩が見せてくれたことになります。

ピョンチャンでのオリンピック・パラリンピックの選手の活躍には感動がありました。選手の活躍の場面は、まだ心に残っていると思います。選手の活躍は、頑張ったことへの賜物だと思います。是非、みなさんも頑張って、頑張った先にある成果をものにしてください。

【平成30年度当初の予定】

教務部

1 次の年度の目標を立てるのは、今！

1年生は昨今の頃、2年生は一昨年、どのような夢と希望を抱いて大崎高校の入学式を待っていたでしょうか。学校行事、新しい友人との楽しい高校生活でしょうか、または将来の夢のための高校の学習についてでしょうか。4月になれば、また新しい1年が始まります。入学する前の期待と希望に満ちた気持ちを思い出し、新たな1年の計画・目標を設計するのは今です。自分の将来に近づくために、今、目の前のことに努力し、一つ一つ階段を上がっていきましょう。

毎日の自己の努力と学習活動が、自分を未来に繋げてくれるのです。

下に、平成30年度当初の予定を示しました。次の（またその次の）卒業生（＝将来を拓く者）として生活している皆さん！有意義な、春休みを過ごすことができるよう祈ります。

飛躍するその日のため、今、この日この時の努力を大切にしましょう。

2 平成30年度当初日程について

月 日	行 事 予 定	備 考
4月 6日(金)	始業式・着任式	
4月 9日(月)	入学式	新2-3学年の生徒は、11:30まで登校禁止
4月10日(火)	1学年・2学年 スディーレポート 3学年 実力判定テスト	
4月11日(水)	1学年 新入生 オリエンテーション 2学年・3学年 HR 及び授業	午後生徒会 新入生オリエンテーション
4月12日(木)	1学年 新入生が'ダズ' 2学年・3学年 HR 及び授業	
4月13日(金)	平常授業	
4月14日(土)	1学年・2学年 土曜講習 3学年 代ゼミ講習	

防災

第1学年主任 小島 弘

3月16日金曜日、3時間目から4時間目にかけて1学年全員が参加する防災フォーラムが実施されました。

地域とともに防災について考えるという趣旨で、日ごろからお世話になっている消防関係の方々や地域住民の方々もお招きし、有意義な時間を過ごしました。フォーラムでは防災部（防災活動支援隊）の男子生徒2名が司会を務め、まず防災部の女子生徒2名が防災部のこの1年間の活動報告をしました。

防災部はその活動が地域社会に大きく貢献したという理由で、本年度、東京都知事、東京消防庁消防総監、日本善行会から表彰を受けました。誇りをもってその報告をする生徒の顔は凛々しく、大変に頼もしく感じられました。

発表者2名は、本年1月に兵庫県淡路島で行われた全国防災ジュニアリーダー育成合宿に参加した時の体験を、感動を込めて語りました。今後さらに意欲的に本校で防災の輪を拡げていきたいという生徒の言葉が印象に残りました。

防災部の活動報告のあとは、東北大学特任教授の齋藤幸雄先生のご講演を聴きました。演題は「震災を語り継ぐ～避難所運営の実際～」で、齋藤先生は、積極的に生徒の中に入り込んで質問をされ、教員も含めた参加者全員に「避難所運営図を作成しましょう」と語りかけられ、作成した図について講評をされるというアクティブな講演でした。

先生の質問は「避難所生活でとても大切なのは、二次災害への対策です。特に、トイレの問題についてはどのような対策をしますか？」といった極めて具体的かつ実践的なもので、災害時に大変に役立つものでした。

最後は齋藤先生の「生徒諸君の校歌を歌う声を聴きたい」という声にお応えし、1年生全員が元気な声で校歌を歌い、先生に感謝の気持ちを示し、フォーラムを終了しました。

【いじめ防止フォーラム報告】

第2学年担当 原澤 直貴

3月14日(水)3・4時間目、2年生を対象に視聴覚室において「いじめ防止フォーラム」が、講師に東京第二弁護士会・真下 麻里子氏をお迎えして開催されました。

まず、いじめの実態と防止について、いじめはなぜ「絶対に」許されないのか、といった人権的観点から、いじめの早期発見につながる被害児童・生徒の言動や行動の観察、いじめに該当する行為の認識の相違やその解決方法などについて、非常に含蓄ある講演をいただきました。また「中立」だからいじめを見過ごすのではなく、「中立」だからこそ悪いものは悪いと言えなければならないという話が生徒にとっても、そして教員にとっても非常に印象的でした。長い講義時間であったにもかかわらず、生徒達は真剣かつ興味を持って耳を傾けていました。

休憩をはさみ4時間目には、A組からG組まで7クラスの生活委員が中心となって取り組んできた、クラス毎の「いじめ撲滅のための標語」についての発表と投票が行われました。修学旅行後の短期間の中で、各クラスともいかにしたら校内からいじめを完全に撲滅できるのか、という真剣な気持ちが伝わってくる標語案が次々と発表されました。それを受けて、生徒たちは新3学年として掲げる標語を選ぶため真剣に投票していました。そして最後に、生活委員長・清水広夢(2年D組)が学年を代表して校長と7名の学年担任団に対していじめ撲滅を宣誓し、より明るい学校生活を誓うことができました。

「平成30年度 第3学年 いじめ防止 標語」

いじめゼロ 標語で終わるな 行動へ

平成29年度 進路状況

○大学合格者状況

大学名	一般		センター		指定校		AO		公募		子女推薦		その他		男	女	計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
青山学院大学	2		1										1	3	1	4	
亜細亜大学		1	1							2				1	3	4	
跡見学園女子大学											1			0	1	1	
有明医療大学		1												0	1	1	
大妻女子大学					1									0	1	1	
学習院大学		2												0	2	2	
神奈川工科大学	1		1											2	0	2	
神奈川大学	4	1			6	2								10	3	13	
鎌倉女子大学						1								0	1	1	
関東学院大学	6						1							7	0	7	
北里大学	1													1	0	1	
杏林大学	1	1		1										1	2	3	
慶應義塾大学	1	2												1	2	3	
恵泉女子大学		1												0	1	1	
工学院大学					1									1	0	1	
国士舘大学	5		2		1	3	1	1						11	2	13	
駒澤大学	3	1												3	1	4	
産業能率大学						1								0	1	1	
実践女子大学		1			1				1					0	3	3	
秀明大学	1													1	0	1	
城西国際大学	1													1	0	1	
城西大学				1										1	0	1	
上智大学	1								1					1	1	2	
湘南工科大学	1													1	0	1	
白梅学園大学	1													1	0	1	
成城大学		2												0	2	2	
聖心女子大学								1						0	1	1	
聖徳大学					1									0	1	1	
専修大学		1												0	1	1	
専修大学(二部)											1			1	0	1	
創価大学								1						0	1	1	
大正大学	1													1	0	1	
大東文化大学	1	2												1	2	3	
高千穂大学							1							1	0	1	
拓殖大学							1							1	0	1	
千葉商科大学					2									2	0	2	
帝京科学大学		1			1			1	1					2	2	4	
帝京大学	5	1	1				1	2						7	3	10	
帝京平成大学		1		1			1							1	2	3	
東海大学	4	1							1					4	2	6	
東京工科大学								1						0	1	1	
東京工芸大学			1						1					1	1	2	
東京国際大学			1	1										1	1	2	
東京情報大学	2													2	0	2	
東京成徳大学	1													1	0	1	
東京電機大学					1									1	0	1	
東京都市大学					2			2	1					2	3	5	
東京福祉大学		1												0	1	1	
東京未来大学								1						0	1	1	
東洋英和女学院大学		2												0	2	2	
東洋学園大学	1						1							2	0	2	
東洋大学	5							1						5	1	6	
獨協大学	4		1											5	0	5	
日本大学	1			1	1	1			3	1				5	3	8	
文京学院大学		2		1	1									1	3	4	
文教大学	1								1					1	1	2	
法政大学					1	1								1	1	2	
武蔵野大学					1	1		1	1					2	2	4	
明海大学	1													1	0	1	
明治学院大学	1													1	0	1	
明治大学			1											1	0	1	
明星大学	3							1						3	1	4	
目白大学		1		1	1				2					1	4	5	
立正大学	3	1			3	2	1		1					8	3	11	
了徳寺大学	1													1	0	1	
和光大学	2	1												2	1	3	
早稲田大学	3													3	0	3	
和洋女子大学		2												0	2	2	
小計	69	30	8	7	23	13	10	15	8	8	0	1	1	119	75	194	
計	99		15		36		25		16		1		2				

○短期大学合格者状況

短大名	男	女	計
有明教育短期大学		1	1
大妻女子短期大学		1	1
実践女子短期大学		1	1
洗足子供短期大学		1	1
鶴見大学短期大学部		1	1
帝京短期大学		1	1
戸板女子短期大学		2	2
東京立正短期大学	1		1
計	1	8	8

○就職

会社名	人数
株式会社 五光製作所	1
株式会社ドミノ・ピザ ジャパン	1
株式会社スポーツアカデミー	1
京浜急行バス株式会社	1
東京急行電鉄株式会社	1
日本郵便株式会社	5
(株)プリンスホテル	1
山手冷蔵株式会社	1
友生コーポレーション	1
ユザワヤ商事株式会社	1
計	14

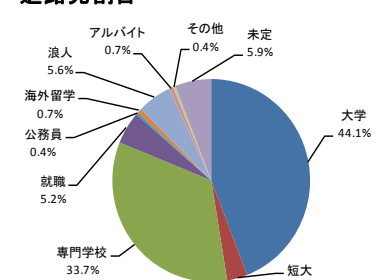
○公務員

東京都警視庁	1
--------	---

○卒業生進路先状況 (卒業生270名)

進路先	人数	%
大学	119	44.1%
短大	9	3.3%
専門学校	91	33.7%
就職	14	5.2%
公務員	1	0.4%
海外留学	2	0.7%
浪人	15	5.6%
アルバイト	2	0.7%
その他	1	0.4%
未定	16	5.9%
計	270	100%

進路先割合



大学合格者受験方式別割合

